

安倍晋三首相は、運の強い人だと思わざるを得ない。金正日までもが味方してくれるのだから。



(地下核実験場と推測される花台郡)

総理の初外遊に中韓両国を選択した慧眼には感服する。中国、韓国両国とも靖国問題をこれ以上こじらせて決定的な亀裂が入る愚は避けたいと言う思惑もあった筈だから、首脳会談は何れ開催されるだろうとは思っていたが、初外遊先に選択し、且つ北朝鮮の核実験実施表明そして本日の地下核実験実施が追い風となって日・中・韓の夫々が靖国を争点にする必要がなかった。こういう意味において安倍首相は運の強い人だと思う。

さて、北朝鮮の、安保理の議長声明や国際社会の声を無視しての地下核実験強行の狙いは何だろうか。今回の実験の詳細は現時点不明であり、成否や規模についてもいろいろな情報があり、確定的な情報がない。

北朝鮮は、今月3日の核実験を行う旨の表明の効果が殆んどなかったことから、次のカードを切ったのだろう。朝鮮労働党創建記念日に向けての国威発揚もあったのだろうが、それはメインではなかろう。

金正日の思考経路が理解できない。核実験実施の表明は、実験を今すぐ行うと言うことではなく、近い将来に行うと言うことであって、時間を稼いでその間に戦略の見直しを行うのであろうと思っていたが、小生の思惑をはるかに超えた決断である。

何れにしろ、日本の安全保障環境が激変するほどの衝撃である。北朝鮮のミサイルと核能力は意外に侮れないのかも知れない。近い将来に核爆弾の小型化に成功してミサイル搭載が可能になる日も近い。核武装した北朝鮮が出現する、少なくともそれを前提に我が国の国家防衛戦略を確立しなければならない。

否、もっと大事なことは、我が国に対する核弾頭搭載したミサイルの脅威が顕在化する前に、北朝鮮のその能力を減殺若しくは封殺せねばならないということだ。それこそが喫緊の課題である。これは、日本一国のみで出来るものではないが、少なくとも米国と共同して北朝鮮の体制変換を期さねばならない。

暴発させることなく、如何にして金正日帝国を崩壊させるかをしっかりと検討し、直ちに実行すべきだ。

北朝鮮が自滅への道を歩き始めているのは事実だが、それを如何にして促進させるかが大事だ。もう、これ以上待てない筈だ。日本としては手を拱いて、核攻撃を受ける訳には行かないのだ。

安保理決議や日本が独自に行うであろう経済制裁のみで、北朝鮮の体制変換が行えるのであれば、結構だが、果たして巧くいくか。そうは問屋が卸すまい。

北朝鮮国内で革命やクーデターが起きないという保証はないが、それらをも促進するいい方策はないだろうか。

軍事力によって体制崩壊を期すると言うのは、最後の手段ではあるがそれをも排除して

はならないのだろう。米国の決断に掛かっている。日本としては、上述の認識に立てば米国による北朝鮮攻撃を支持する必要がある、そこまで腹を括ることが出来るか、国民に納得させる力量があるか、安倍内閣の真価が問われる。

(10日一部加筆修正)